



「県立保健福祉大学西村ゼミ・こどもの夢サポートセンター」

との研修報告



***日時** 2024年6月19日

***場所** こどもの夢サポートセンター

県立福祉大学社会福祉学科の西村教授より依頼を受け、2021年より毎年、福祉に関わる学生さん達にNPO「こどもの夢サポートセンター」の福祉事業の展開について研修を行ってきました。

昨年はコロナ感染のため実施できませんでしたが、本年、6月19日に西村教授とゼミの学生の方6名が来られ、第3回目の研修になりました。

サポートセンターからは、鈴木理事長、荻野理事、石渡副理事長が参加、「こどもの夢サポートセンター」の設立趣旨、ゆめ塾の学習支援から始まり現在に至るまでの6事業の活動の展開や、意義についての説明を行いました。

学生さん達は「食」を伴うネクスト・アウトリーチ・夢カフェ等の福祉活動に特に興味をもたれ、活発な質問や、意見が多く出されました。

改めて私達の活動の大切さを感じました。そして、夢カフェやゆめ塾の学習支援に若き学生さん達の参加を期待したいと思います。

***参加された学生さんからの感想が届きましたので紹介いたします。**

特定非営利活動法人 こどもの夢サポートセンター理事長鈴木明様

深緑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。先日はお忙しいところ、活動見学の機会をいただき誠にありがとうございました。

こどもの夢サポートセンターでは、人や機関との関わり、つながりを大切にされているからこそ、周囲からさまざまな手助けや寄付があり、応援される事業となっているのだと感じました。

また、ゆめ塾や夢カフェなどは、単に「居場所」というだけではなく、人とかがわりを持てる場所、安心して自分の好きなことができる場所となっているのではないかと思います。ゆめ塾に来る子どもたちに対し、学習支援だけではなく、軽食を出すなどして手厚い支援をされていて、貧困の連鎖を止めるために取り組む信念が伝わり、感銘を受けました。

複数の事業で共通して、人が毎日必ず行う「食べること」に関する取り組みをされていて、収穫した野菜がひきこもりだった方が家族と関われるきっかけになることもあると聞き、身近である「食」を事業の中に入れることで誰もが抵抗感を持たずに参加しやすいものになっていると感じました。

そして、できることと、できないことを明確にすることで、支援の対象も明確になり、対象者に寄り添った支援が行われていることがわかりました。この度は、貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。最後になりましたが、貴団体のご発展をお祈り申し上げます。

令和6年6月23日

神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科西村ゼミ一同



*これからも県立福祉大学との交流を深め、テーマをもって共同研究を進めていければと思います。